

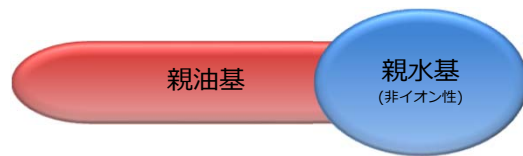
NIKANOL AM-2000/AM-6000 (NEW)

- 親油基の分子量分布が広く、幅広いHLB値を網羅したノニオン性乳化剤。
- ご要望の多い高HLB値の品種をラインナップ。

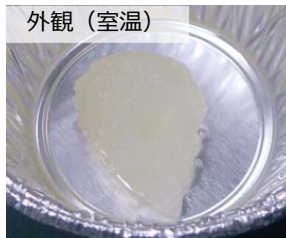
製品性状（代表値）	AM-2000	AM-6000 NEW
外観（常温）	WAX状固体	WAX状固体
融点(℃)	48	56
溶融粘度 (mPa・s)	200(50℃)	800(60℃)
HLB値	13	18
曇点(℃)※1	52	55

※1 45%ブチセロ水溶液に1%溶解させて測定

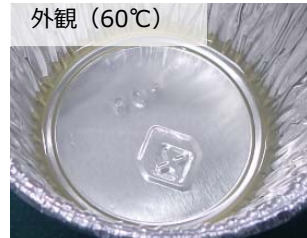
イメージ構造



外観（室温）



外観（60℃）



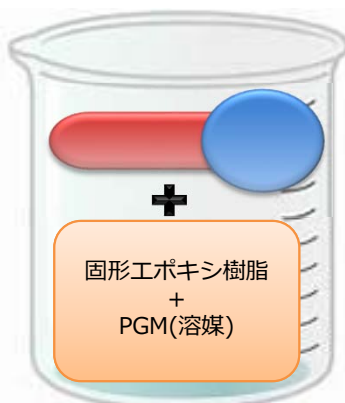
AM-6000の使用例（固形エポキシ樹脂の乳化）

- ✓ 少ない添加量で乳化性能を発揮。
- ✓ 光沢性、密着性に優れる硬化塗膜が得られる。

Em組成（%）		
乳化剤（AM-6000）	1.3	2.6
固形エポキシ樹脂※2	53.7	52.4
PGM※3	10.2	10.0
水	53.7	52.4
固形分	55	55

※2 BPA型エポキシ樹脂 エポキシ当量440-510

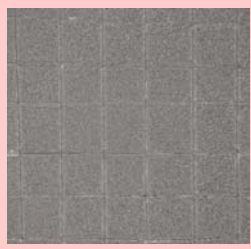
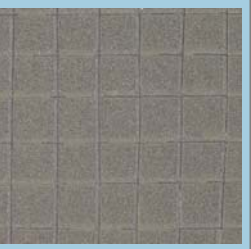
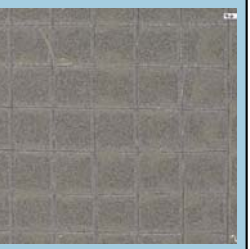
※3 プロピレングリコールモノメチルエーテル



攪拌しながら
水を添加



エポキシEm

乳化剤		AM-6000		他社乳化剤※6	
乳化剤添加量(%)		1.3	2.6	1.3	2.6
Em性状	粘度(mPa・s)_10rpm	40	60	80	180
	D50(μm)	1.1	0.7	2.4	1.7
	静置安定性(23℃/1week)	異常なし	異常なし	沈殿分離	異常なし
硬化塗膜性状※4	鏡面光沢度(20°)	95	105	58	99
	鉛筆硬度(凝集破壊)	H	H	H	H
	ヘイズ※5	13	6	37	11
	密着力(2mm×25)	 JIS 0	 JIS 0	 JIS 2	 JIS 2

※4 硬化剤：変性ポリアミドアミン、クリア塗料配合比：Ep/Am=1.0/1.0

基材：SPCCリン酸亜鉛処理鋼板、養生条件：23℃/50%RH乾燥膜：厚30μm

※5 ASTM D4039

※6 エポキシ基を有する反応性乳化剤



フドー株式会社

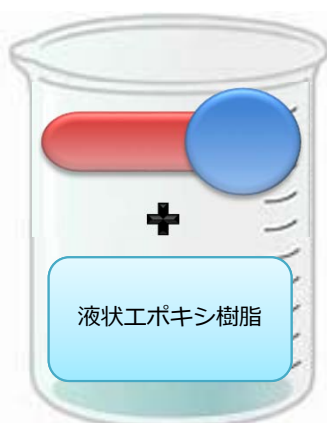
AM-2000の使用例（液状エポキシ樹脂の転相乳化）

- ✓ 少ない添加量で**優れる乳化安定性**を発揮。
- ✓ **光沢性、密着性、防錆性**に優れる硬化塗膜が得られる。

Em組成 (%)

乳化剤 (AM-2000)	2.5	5
液状エポキシ樹脂※7	47.5	45
水	50	50
固形分	50	50

※7 BPA型エポキシ樹脂 エポキシ当量184～194



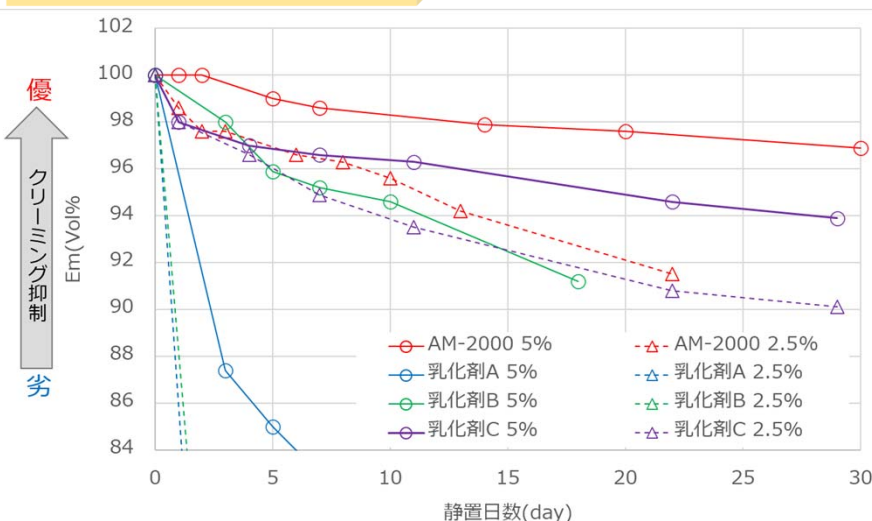
撈拌しながら
水を添加



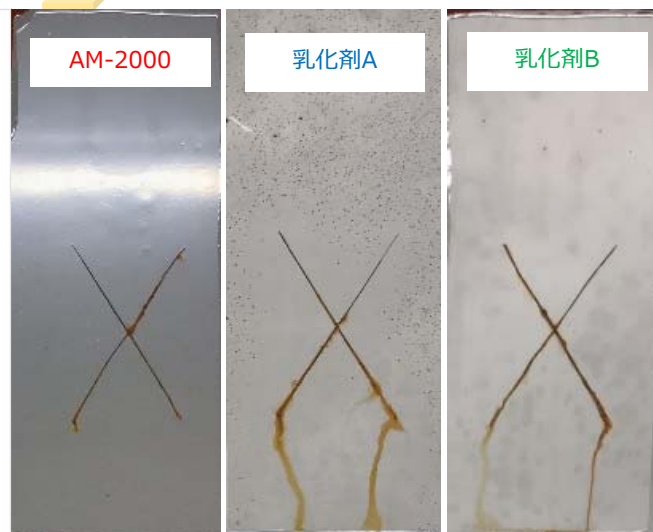
Em性状	乳化剤	種類	AM-2000	乳化剤A	乳化剤B	乳化剤C
		HLB値	13.2	12.7	12.7	18.7
		添加量(%)	5			
	静置安定性※8	○ or △ or ×	○	×	×	△
硬化塗膜性状 ※9	外観	鏡面光沢度 (60°)	108	108	108	63
	硬度	鉛筆硬度 (凝集破壊)	H	H	H	HB
	密着力	基盤目剥離 (2mm×25)	JIS 0	JIS 5	JIS 5	JIS 5
	耐水性 ※10	HAZE※11 水浸漬前	3	1	1	27
		HAZE 水浸漬後(23℃/24hr)	17	6	13	87
	SST ※12	○ or × (1week)	○	×	×	-

※8 Emを試験管に入れてEm粒子の沈降具合を目視で確認 ※9 Ep/Am=1.0/1.0 変性ポリアミドアミン硬化塗膜、基材 SPCCリン酸亜鉛処理銅板、養生条件：23℃/50%RH乾燥膜：厚30μm
※10 基材 青板硝子 ※11 ISO 14782 ※12 Ep/Am=1/7 変性ポリアミドアミン硬化 暴露期間、基材 SPCCリン酸亜鉛処理銅板

エポキシEmの静置安定性評価



SST



想定用途

- 水系塗料（重防食）
- 水系接着剤
- 水系粘着剤
- サイジング剤



フドー株式会社

研究開発本部機能性樹脂開発グループ
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル5F
TEL : 045-548-4211 E-Mail : info-nikanol@fudow.co.jp